

奈弓連だより

通巻 215 号

令和2年1月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

連絡先: henshu@narakyudo.jp

会長年頭所感

会員の皆様のご支援のもと、新たな体制で連盟発展に努めます。

奈良県弓道連盟 会長 西中 正

明けましておめでとうございます。会員の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。令和になって初めてのお正月、穏やかな日々が続いています。1月5日、射初会 126名の参加で肅々とスタートすることができました。

昨年は、全国的に台風、洪水被害があり弓道関係でも大きな被害を被られた方々がおられるとのこと、心からお見舞い申し上げます。

今年度は、役員改選の年で、射初会のあとの、臨時評議員会において、連盟規約第9条に基づき名誉会長(吉本清信留任)会長(西中正留任)副会長(西浦範光留任、深田紀美子留任、阪中計夫留任、明瀬憲正新任、藤岡順新任、高体連部長)が選任されました。昨年まで18年間副会長としてご活躍いただきました新司正人氏は顧問の重責をお願いすることになりました。

代わって、本連盟で多人数を占める奈良支部から明瀬憲正氏に、また、近年、全弓連、連合会のやり取りは事務局長間でのメール作業が多くなっており、速やかな判断を求められることから藤岡順事務局長には副会長兼任をお願いすることになりました。新たな体制で昨年同様、会員の皆様のご支援のもと、連盟発展に努めて行く所存です。

新年度に向けて、①昨年度から審査部で、地方審査の透明性・公平性・公正性を確保した審査会に取り組んできました、全弓連では全国統一化(審査基準)を目指していますが奈良県からの審査基準を全国に発信していける体制を作っていくたい。

②決定ではないのですが、10年後に国体が奈良県で行われるようです。それを機に財務の見直しを昨年から財務検討委員会を立ち上げ検討してきました。会員の皆様には、その中身については追って説明させていただきますが、より



1月5日に開催された奈良県弓道連盟
新年射初会での矢渡し

堅実な組織運営を目指したいと思います。ご協力
よろしく申し上げます。

2020年9月1日から2021年3月10日まで
橿原公苑弓道場が耐震改修工事のために使用
できなくなります。また、2020年はオリンピ
ック・パラリンピックが開催され全国的に夏には
スポーツ一色になりそうです。奈良県にも4月
11日から聖火リレーレセプションがあり、7月
15日から8月7日までウクライナ陸上代表チ
ームとカザフスタン女子バレーボール代表チ
ームの事前キャンプが橿原で行われます。こう
した期間は例年橿原で予定していた行事を奈良
にお世話をおかけします。また実施されない行事
も出てきております。行事予定表ご確認して
いただいて、今年1年間各行事への参加及びご理
解ご協力をよろしく申し上げます。

奈良県弓道連盟 新年射初会 126名が参加して祝射

1月5日（日）奈良県弓道連盟の新年射初会が橿原公苑弓道場にて開催されました。西中正会長の矢渡し（第一介添：吉本清巳、第二介添：藤岡順）の後、昨年の中央審査及び連合審査で合格された方々及び年間表彰された方々の演武が行われ、その後参加者126名が各一手2回の4射を射初めとしました。支部対抗戦は各支部的中上位者10名により順位が決まります。結果は、1位奈良支部（31中）、2位橿原支部（23中）、3位郡山支部（18中）となりました。



六段昇段者及び教士昇格者による演武



国体少年女子で5位に入賞し、年間表彰を受けた
県代表の郡山高校の選手による演武

（競技部 西田ゆり）

橿原神宮鳥居修築に伴う清祓い墓目の義のご奉仕 新司正人副会長が射手を務める

昨年橿原神宮の4基の鳥居が修築されたことに伴い、橿原神宮庁から奈良県弓道連盟に対しまして「墓目の奉仕」に関する依頼がありました。西中正会長以下7名により、12月24日「鳥居修築工事立柱祭並竣工奉告祭」のなかで、ご奉仕させていただきました。

元々あった鳥居は、昭和15年、紀元2600年にあたり建造されたもので、80年近く経過し傷みもあり、「御鎮座百約三十年奉祝記念事業」に伴って修築されることになったようです。

墓目の義は新司正人副会長が射手を務め、約10mの高さの第一鳥居の上を越すようにして清祓いを行いました。



新司副会長による清祓い



墓目の義 奉仕者の皆さん

（理事長 阪中計夫）

大和神社御弓始祭

青空の下、五穀豊穰・天下太平を祈り行射

新春恒例の天理市の大和（おおやまと）神社の御弓始祭が1月4日（土）に行われました。

この行事は、昭和26年ころから奈良県弓道連盟が奉仕しており、お宮の伝統行事として広く知られております。

当日は天候にも恵まれ、神事後、五穀豊穰・天下太平を祈り行射が行われました。

最初に、的皮にすべての魔・邪気を集め、それらの魔を鏑矢の音で祓うという「墓目の儀」が執行されました。昨年に引き続き、深田副会長が射手を、介添も女性が務め、厳かな雰囲気の中、場が清められました。

続いて、宮司が一手を引かれ、年預さんと呼ばれるお宮の役員さんが3名、袴の衣装で一手ずつ大的に向かい、見事的中。的裏に潜む魔性退散に努められました。

その後、天理南中学校の弓道部員の13名が、2人ずつ大的に向かい的中を重ね、家族や学校関係者から大きな声援を受けながら無事執行されました。

最後に、県弓道連盟の会員で男子5名、女子5名の射手を含め総勢29名で百手式が執行されました。

百手式をはじめ古式弓道は、足さばきなど現在弓道と異なるところも多く、すぐに出来るとは限りません。射手を務めるには、場の流れ、所作の方法等経験が必要になってきます。興味のある方は、是非参加していただき、伝統行事を引き継いでいただきたいと思います。



御弓始祭奉仕参加者

(副会長 新司正人)

香芝蒼穹会初射会

穏やかな天候のもとに開催

1月2日（木）奈良学園の旧短大弓道場にて、穏やかな天候のもと、恒例の香芝蒼穹会初射会を実施しました。

矢渡しは昨年度、国体強化選手として頑張った脇阪佳工さんが、第一介添えには松井さん、第二介添えに

は柴さんが担当しました。3人とも初めての体験ながら、助言を聞き、矢は2本とも的を射抜くなど、それぞれ大役を果たしました。続く射礼では称号受有者4名による一つの、初心者や有段者は持ち前の射礼を行い令和二年の弓道をスタートさせました。

昼食ののち、それぞれの課題克服に向けた練習を開始。15時過ぎに終了しました。



矢渡しで、脇阪さんは見事に皆中

(香芝支部蒼穹会 土谷尚敬)

シャープ・布目・石打 オープン新年射会

立射礼・一つの射礼も行い有意義で楽しく

今年も、布目・石打道場で練習・研鑽されている方々が1月11日（土）布目弓道場「英明館」に集い、第2回シャープ・布目・石打 オープン新年射会を開催し、2020年のスタートをしました。

矢渡しはシャープ弓道部部長の菅沼さんが射手、第一介添えは太田さん、第二介添えは井上さんで行われましたが見事、皆中でした。その後、奉射・金的・花的・射割りの余興的で楽しみ、普段なかなか行わない、立射礼・一つの射礼を有志で行い、先生方から講評・ご指導もいただき、有意義で楽しい新年射会でした。

納射はいつものように、風船的による抽選で決めました。本年もいい一年になりそうです。



大いに楽しみ、学んだ有意義な新年射会でした

(シャープ支部 工藤裕章)

布目弓道場 108 中射会

一年の締めくくりに弓を引ける事に感謝

第 24 回布目弓道場 108 中会が 12 月 31 日 (火) に布目弓道場英明館にて 20 名が参加して、開催されました。最初に矢振りで立順を決め、順次一手行射を行い、全員で合計 108 本中るまで引き続けます。途中 80 中あたりからは一人一本ずつの行射になり、平等に 108 中賞のチャンスが巡って来るように工夫されています。一年の締めくくりに弓を引ける事に感謝しつつ、皆さん真剣に、そして、和気あいあいと 108 中を目指しました。108 中に至るまでには毎年違ったドラマがあり、これも毎回の楽しみでもあります。

射会の後は懇親会がありました。年越しそばや、眞鍋さんが作って下さったおでんをいただきました。また、普段なかなかゆっくりお話する事ができない方々のお話を聞く事ができ、新たな刺激をいただきました。このような場を毎年準備していただき、とても感謝しております。参加されたことがない方も次回ぜひ参加してみてください。今回の成績は次の通り。

108 中賞 吉本凜香 (平城高 2 年)

アシスト賞 土谷ひろみ (奈良)



左から喜びの吉本凜香さん、土谷ひろみ
(奈良支部 土谷ひろみ)

大学連合講習会

開き足から矢番えまでの動作を徹底的に研修

第 16 回 大学連合講習会の第 1 回目が 12 月 8 日

(日) に 橿原公苑弓道場で開催された。この講習会の目的は ①審査における心得や体配についての熟知、②射技・体配の向上、③大学間の情報交換及び親睦です。

藤岡順師範の矢渡し (第一介添え: 森井達紀・第二介添え: 田川智基) に始まり、審査の間合いで一手行射 7 立を約 30 分間行った。その後、各師範から動作の講評を頂き、午前部の部を終了。午後からは頂いた講評をもとに審査の入退場や行射に入るまでの動きを徹底的に教わった。後、大学間の親睦を深めるため各大学

の弓道場での困りごとはないかなどの意見交換を行った。休憩を挟んだ後、班別射技研修を行い、各師範から動作や体配についての指導を受けて、終了。

【講習会を終えて (感想)】

初心者でほとんど知識もないままの参加だったが、丁寧に教えて頂き非常に良い経験ができた。特に印象に残っていることは全体で行った座射練習である。初心者が多く基本が出来ていなかったもので、開き足から矢番えまでの動作をスムーズにできるよう徹底的に教わった。矢を平行に保つことが出来ず苦戦した。課題がたくさんあるが、来年の講習会までに完璧に熟せるよう、より一層日々の練習に励みたい。

【所作、行射の指導について】

所作において最も大事なことは「無駄なく、最短距離で、余計なことはしない」を徹底することだと教わった。特に注意すべき姿勢、動作として指導を受けたのは次の通りです。

【所作】

- ・入退場
- ・弦の鼻筋
- ・目づかい
- ・歩くリズム、スムーズな動作
- ・開き足～矢番え
- ・弓倒し
- ・執り弓の姿勢
- ・国旗への正対
- ・本座のとり方

【射技】

- ・打起こしの鳥刺し

(帝塚山大学弓道部 森井達紀)

編 | 集 | 後 | 記

新年、明けましておめでとうございます。

月間「弓道」で全日本弓道連盟 増田会長の年頭のあいさつに『半学半教』という言葉があります。教える側と学ぶ側それぞれ別に存在するのでなく、互いに学び教えあうことで互いに高めていく、一方通行の指導でなく双方向の対応です。」という文がありました。弓道を通じて人間を高めてゆくことを今年も目指したく思います。

日頃、悪癖が治らないと夫婦で悩んでいますが、昨日、女芸上達の神として古くから信仰の対象になっている「左り馬」(京都府井手町) に配偶者とともにお参りしました。花崗岩に刻まれた半肉彫りの躍動的な左り馬です。男性にも力を与えてくださることを願って。

本年も皆様の活躍を伝えるよう努めます。どしどしニュース・写真をお寄せください。またこの「奈弓連だより」は奈弓連のホームページよりダウンロードできますから、是非ご利用ください。

編集担当 野尻賢司